

歩の街look田原

街あるつく田原 | 第67号
令和7年8月1日金

ちびっ子あつまれ!

セタイベント 星に願いを

短冊に願いを込めて...



7月5日(土)午後3時、ラグラ
ン(三河田原駅西側)にて、「セタイベ
ント星に願いを」が開催されました。
蒸し暑い中、たくさん親子が会
場に足を運び、開始前には列ができ
ました。
願い事を書いた短冊を持ってきて
飾りつけをしてくれたお子さん先着
500名に光るブレスレットのプレ
ゼント、さらに浴衣を着て来場した
お子さん先着200名にお菓子がプ
レゼントされました。



用意された笹に願い事を書いた短
冊と飾りを親子でくくり付け、記念
写真を撮る姿も多くみられ、笑顔の
子どもたちが印象的でした。
午後4時から願いが叶うように
と、宮司さんによるご祈祷も執り行
われ、「二元气に成長しますように」や
「毎日笑顔でいっぱい過ごせるよ
うに」など、それぞれの願いと想いが
込められていました。

飾りつけされた笹はラグラと
三河田原駅前広場に設置されまし
た。また、田原中学校ボランティアグ
ループ「たはランティア」の協力のも
と、七夕飾り専用台の飾り付けがさ
れ、協賛店51店舗前に設置。いずれも
7月7日まで。
まちなか周辺は七夕飾りで彩ら
れ、飾りや短冊は風に吹かれるとキ
ラキラとなびいていました。



幸せの四つ葉イベント

笑顔が繋がるハッピークローバー～私の幸せ・あの人も幸せ～

4月28日は四つ葉の日。今年も13店舗が参加し、4月26日から5月6日まで幸せの四つ葉イベントが行われました。期間中に参加店舗で買い物しスタンプを集めるスタンプラリーや、4月27日には田原めっくんはうすで限定のイベントを開催。

各店舗には四つ葉のクローバーの鉢が用意され、1人一本の摘み取りができる企画も人気で、四つ葉だけでなく中には、金運UPの五つ葉も！

13店舗のうち、3店舗の店頭の様子を見せていただきました。



幸せのシンボルとして知られる四つ葉をモチーフにしたプロジェクト。新たな観光資源創出や障がいのある方への支援、商品開発などを通じた、商業活性化や中心市街地の活性化を目的としています。



Choeiken めっくんはうす店

四つ葉にシュー生地の羽根、ホイップクリームにいちごのハートを添えた大判焼「よっぱんやき」や、四つ葉のクローバーが飾られたプチシュー「幸せころりん」が販売されました。

大判焼きは注文が入ってから丁寧に焼き上げられました。一口サイズでひんやりとしたプチシューは、カスタードたっぷり！



おみやげにもぴったりなプチシューと、季節の地元のいちごを使った大判焼き



選り抜いた四つ葉のクローバーを摘み取り、丁寧にノートに挟んでいる女性の姿も見受けられました。



道の駅 田原めっくんはうす

田原授産所が手掛けた四つ葉を使ったお守りなど、道の駅田原めっくんはうすで常時販売しています。種類も豊富で、想いを込めて手作りしています。



幸せ守りは、蔵王権現堂でご祈祷した四つ葉を使っています。

幸せの四つ葉ストラップや合格祈願絵馬など



洋菓子カフェ La clarté

汐見にある洋菓子カフェ La clartéでは「四つ葉のラングドシャ」1袋4個入りが販売されました。幸せの四つ葉をモチーフに、サクサクした食感が特徴のフランスのお菓子ラングドシャにしました。緑色は抹茶を使用して、鮮やかに仕上げました。



1袋100円(税込)で販売されました



さわやかな青色で統一された店内

まちなかこいのぼり



主催：まちなか賑わいづくり実行委員会

新緑がまぶしい4月26日(出)から5月6日(火)まで、「まちなかこいのぼり」が今年も開催されました。こいのぼり専用台に吊るすためのぬり絵は、稲場保育園、漆田保育園、神戸保育園、第一保育園、中部保育園、蔵王こども園、田原赤石こども園、童浦こども園の園児たちが塗ったもので、全部で475枚になりました。作成するのは田原市立田原中学校のボランティアグループ「たはラントピア」の16名の皆さん。作成作業は4月24日の午後行われました。放課後の限られた時間に、一つ一つ丁寧に糸を通す作業を、手際よく進めていきました。

完成したこいのぼり専用台は、協賛店で設置していただけるよう、4月26日に「たはラントピア」の4名の皆さんとまちなか賑わいづくり実行委員会のメンバーで、一緒に設置のお願いにまわりました。こいのぼり専用台は、協賛店51店舗の店先に設置され、園児親子が期間中に自分のぬり絵を探しに訪れ、写真撮影に興じていました。



豊川堂さんへ設置のお願いに行きました



お亀堂さんへ設置のお願いに行きました



昨年創業150周年を迎え これからも「いつもそばに、ずっとそばに」

豊川堂 セントファーレ田原店 店長 **林 毅さん**
 セントファーレ田原店 店長 **林 毅さん**
 豊川堂 セントファーレ田原店 店長 **林 毅さん**
 生まれ高校卒業まで、ここで過ごしました。高校卒業後、東京の大学に進学し、大学卒業後は数年間、編集プロダクションに所属するフリーライターとして、写真週刊誌やスポーツ雑誌でライターの仕事をしていました。28歳で地



■林毅店長の生い立ち

元赤羽根町に戻り、田原町赤石で開店準備中の豊川堂田原店に就職しました。その後、豊橋駅カルミア店オープンに向けて準備に携わり、開店後は店長として赴任しました。2年前には豊川イオンモールの開店準備にも携わり店長として活躍されました。そして、今年1月よりセントファーレ田原店の店長として赴任されました。

■豊川堂の歴史

豊川堂は明治7年豊橋で創業し昨年150周年を迎えました。田原店においては、田原町上町通り商店街に昭和38年ごろ出店し、平成16年7月にセントファーレ1階に開店しました。



住 田原市田原町萱町1番地
 セントファーレ1F
 電 0531-22-0159
 FAX 0531-24-4088
 営 9:00~20:00
 休 年中無休
 P セントファーレ共用
 HP <http://www.housendou.com/>



■田原店のコンセプト

お店のコンセプトは「いつもそばに、ずっとそばに」です。これまでも、これからもお客様に寄り添う店でありたいという意味です。田原店も開店して60年が経過しましたが、100年書店を目指して、地元密着の店づくりをしています。と思っています。そのためには、第二にお客様が気持ち良いと感じていただける清潔なお店。第二には、品揃いの良い気の利いたお店です。スタッフとお客様が気軽に話ができて、お客様からの要望や注文がしやすい雰囲気づくりをしつかりしていきます。

■今の一押し書籍

8月下旬に刊行予定の「豊橋・田原の100年」という写真アルバム



バムです。昭和100年を記念しての明治、大正、昭和の写真集です。田原の今はない商店街やお祭り、蔵王山展望台等、懐かしい写真が目白押しですので、一家に一冊いかがでしょうか。もう一冊は福江高校出身の25歳の青年が書いた「失敗の手紙」という小説です。二十歳の俺から未来の僕へ」という副題があり後悔や屈辱、トラウマも挫折も全部「力」に変えていくポジティブな作品です。地元の新人作家さん登場ですので、ぜひ応援しましょう。

■店長として

最後に林店長より「田原店のコンセプトをいつも意識して市民に愛され、親しまれるお店を目指して日々頑張ります」と力強い言葉を頂きました。

